

日本ピグメント株式会社

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号

TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418

第70期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

ゆとりは、色彩から—。

私たちのすむ日本には四季の色があり、
私たちはこの豊かな色彩に包まれて生活しています。
私ども日本ピグメントは、この豊かな色彩を再現し、皆様に“夢と希望”を提供できるよう、
色彩について日々研究開発に努力しております。
日本ピグメントの製品は、日常生活のあらゆる場面で、
“豊かな色彩とゆとり”を皆様に提供しております。

CONTENTS

- 株主のみなさまへ／P02 ● 部門別営業の概況（連結）／P04 ● 連結財務諸表／P05
- 個別財務諸表／P07 ● 業績の推移（連結）／P09 ● 株式の概況／P10 ● 会社の概要／P11
- グループ会社／P12 ● 株主メモ／P13 ● ご案内／P14

株主のみなさまには、ますますご清栄のこと
とお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。

ここに、第70期（平成17年4月1日から平成
18年3月31日まで）の営業の概況等についてご
報告申し上げます。

● 当連結会計年度の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業
収益の改善や設備投資の増加に加え、個人消費、
輸出および生産も緩やかながら上昇し、一部雇
用情勢で厳しさが残るものの、景気回復は着実
な足取りを示しております。

しかしながら、当業界におきましては近年の
樹脂メーカーの統合や主要ユーザーの生産拠点
の海外シフト等を背景とする国内需要の伸び悩
みのなか、原油価格の高止まりなどの影響を受

けて、依然厳しい事業環境となっております。

こうしたなか当社グループでは、高分散化技
術による新製品の開発など高付加価値製品への
展開をより一層進めるとともに、コスト削減と
生産性の向上に全社一丸となって取り組んでまい
りました。一方で、環境問題対応のためISO14001
認証を当社各工場および主要国内子会社におい
て取得いたしました。また、海外においては日
本国内からの生産移管品の取り込みや新規得意
先の開拓などに注力するとともに、本年3月に
中国天津市に新たな生産子会社を設立いたしま
した。

このような結果、当連結会計年度の連結売上
高は42,037百万円（前期比3.8%増）となり、連
結経常利益は1,539百万円（前期比21.9%減）、連
結当期純利益は826百万円（前期比4.0%減）と
なりました。

 対処すべき課題

今後の経済の見通しとしましては、企業収益の好調さが個人消費の押し上げに寄与しており、国内民間需要に支えられた景気回復が続くものと見込まれる一方で、原油価格の動向や量的緩和政策の解除が内外経済に与える影響などには引き続き留意する必要があると思われま

す。当業界におきましては、近年の樹脂メーカーの統合や主要ユーザーの生産拠点の海外シフト等を背景とする国内需要の伸び悩みのなか、原油価格の高止まりなどの影響を受けて価格競争が激しくなる一方で、品質への要求はさらに高まり、環境に対する関心の高まりもこれまで以上に増すものと思われま

す。当社グループはこのような状況のなかで、営業活動を積極的に展開するとともに、企業収益強化のための経営の効率化と体質強化を図ってまいります。特に今後取り組む内部統制システム体制を通じ業務の有効性や効率性を高め、全

般的な競争力を高めるとともに、引き続き環境への対応と高品質の維持・向上に万全を期して取り組んでまいり所存であります。また、技術開発においても競合他社に対する優位性を保つべく、開発部門への適切かつ積極的な投資を行い、できるだけ早い時期に新しい製品を市場に投入してまいります。なお、本年3月に設立した中国天津市の生産子会社については、早期稼働に向けて全力で取り組む所存であります。

当社グループは、企業価値向上に向けて今後とも全力を尽くしてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

取締役社長 浅羽 幸夫

樹脂コンパウンド部門

当部門は売上高の部門別構成比として78.7%を占める当社グループにおける主部門であります。しかし、ここ数年は樹脂メーカーの統合・再編などによるインプラント化や、主要ユーザーである自動車、家電、OA機器などが生産拠点を海外に移転した影響による受注の減少に加えて、ユーザーからの値下げ圧力も強まっております。海外においては、日系メーカーの生産拡大を背景に総じて良好な状況ながら、インドネシアを始めとして原油価格高騰の影響が顕現化しつつあり、今後の景気動向が懸念される状況です。当連結会計年度は期前半の中国向けを中心とする輸出一服感や自動車販売の伸び悩みなどの影響を受けて取扱高は減少したものの、原油価格高騰を背景とする原材料費増に伴う販売価格の上昇もあって、連結売上高は33,102百万円と前期比5.2%の増加となりました。



樹脂用着色剤部門

当部門の主力製品であるマスターバッチは、ハイテク製品から日用品、食品包装材など様々な用途に幅広く供給されております。また、付加価値が高く、今後の成長が期待されることから、引き続き技術開発設備の拡充や販売体制を強化してまいりました。当連結会計年度は自動車分野や情報家電分野が低調であったものの、樹脂コンパウンド部門と同様に原油価格高騰を背景とする原材料費増に伴う販売価格の上昇もあって、連結売上高は5,555百万円と前期比0.7%の増加となりました。



加工カラー部門

当部門は当社創業以来の事業ではありますが、既に市場が成熟しており、今後の高い成長が望めなくなっております。そのため、これまで培った高分散化技術や高濃度化技術などにより、新たな市場を開拓する体制の整備を進めております。当連結会計年度は建築関係が堅調であったものの、自動車関係向けの販売不振により、連結売上高は3,244百万円と前期比3.4%の減少となりました。



連結貸借対照表

(単位 千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	13,169,708	流動負債	13,176,168
現金及び預金	2,063,806	支払手形及び買掛金	6,725,632
受取手形及び売掛金	7,269,141	短期借入金	4,925,546
棚卸資産	3,403,468	その他	1,524,989
繰延税金資産	159,159	固定負債	5,270,758
その他	286,677	長期借入金	4,057,865
貸倒引当金	△ 12,544	長期繰延税金負債	1,075,696
		役員退職慰労金引当金	137,196
		負債合計	18,446,926
固定資産	14,270,504	(少数株主持分)	
有形固定資産	10,135,912	少数株主持分	598,767
無形固定資産	42,141	(資本の部)	
投資その他の資産	4,092,450	資本金	1,481,159
投資有価証券	3,806,361	資本剰余金	1,047,714
長期貸付金	81,368	利益剰余金	5,084,827
長期繰延税金資産	59,676	その他有価証券評価差額金	1,193,627
その他	248,388	為替換算調整勘定	△ 403,940
貸倒引当金	△ 103,343	自己株式	△ 8,870
資産合計	27,440,213	資本合計	8,394,519
		負債、少数株主持分及び資本合計	27,440,213

連結損益計算書

(単位 千円)

科目	金額
(経常損益の部)	
営業損益の部	
売上高	42,037,412
売上原価	37,610,481
売上総利益	4,426,930
販売費及び一般管理費	2,836,227
営業利益	1,590,703
営業外損益の部	
営業外収益	227,033
受取利息、受取配当金	28,710
持分法投資利益	77,575
その他	120,746
営業外費用	277,883
支払利息	204,463
その他	73,420
経常利益	1,539,852
(特別損益の部)	
特別利益	4,558
貸倒引当金戻入益	2,897
固定資産売却益	1,660
特別損失	157,376
固定資産売却損	81,149
原状回復工事費	28,471
投資有価証券評価損	4,999
早期退職に伴う退職金	14,724
その他	28,030
税金等調整前当期純利益	1,387,033
法人税、住民税及び事業税	326,044
法人税等調整額	236,378
少数株主損失	1,499
当期純利益	826,110

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,269,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,017,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,298,928
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,442
現金及び現金同等物の増減額	△ 9,446
現金及び現金同等物期首残高	1,335,468
現金及び現金同等物期末残高	1,326,021

連結剰余金計算書

(単位 千円)

科目	金額
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	1,047,714
資本剰余金期末残高	1,047,714
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	4,388,155
利益剰余金増加高	826,110
当期純利益	826,110
利益剰余金減少高	129,438
配当金	94,438
取締役賞与金	35,000
利益剰余金期末残高	5,084,827

貸借対照表

(単位 千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	8,443,522	流動負債	9,090,939
現金預金	1,195,793	支払手形	205,597
受取掛金	393,951	買掛金	4,179,007
売掛金	4,819,046	短期借入金	1,800,000
製品	1,233,339	一年以内に返済する長期借入金	1,653,300
原料	571,192	未払金	806,919
貯蔵品	28,491	未払法人税等	160,120
前払費用	12,481	未払費用	112,933
繰延税金資産	93,937	預り金	20,222
その他の流動資産	105,101	賞与引当金	152,838
貸倒引当金	△ 9,813	固定負債	4,554,600
固定資産	11,947,658	長期借入金	3,412,300
有形固定資産	5,981,598	長期繰延税金負債	1,015,209
建物	2,283,721	役員退職慰労金引当金	127,091
構築物	66,894	負債合計	13,645,540
機械装置	875,501	(資本の部)	
運搬具	8,966	資本金	1,481,159
工具器具備品	107,053	資本剰余金	1,047,714
土地	2,637,152	資本準備金	1,047,700
建設仮勘定	2,310	その他資本剰余金	14
無形固定資産	31,518	自己株式処分差益	14
借地権	24,105	利益剰余金	3,035,777
その他無形固定資産	7,413	利益準備金	277,800
投資その他の資産	5,934,541	任意積立金	2,065,006
投資有価証券	3,167,125	固定資産圧縮積立金	545,006
関係会社株式	2,289,594	別途積立金	1,520,000
関係会社出資金	80,450	当期末処分利益	692,971
長期貸付金	80,508	その他有価証券評価差額金	1,189,859
前払年金費用	237,396	自己株式	△ 8,870
その他の投資	177,863	資本合計	6,745,641
貸倒引当金	△ 98,396	負債及び資本合計	20,391,181
資産合計	20,391,181		

損益計算書

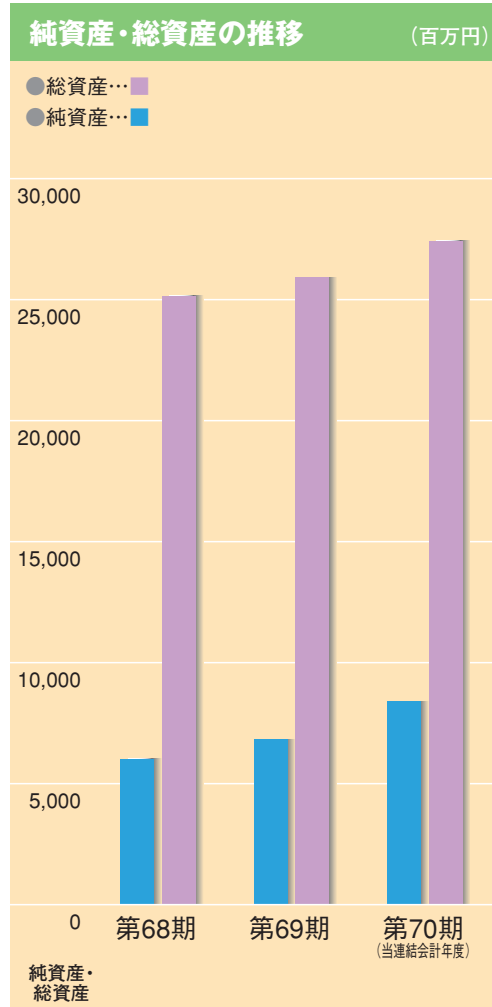
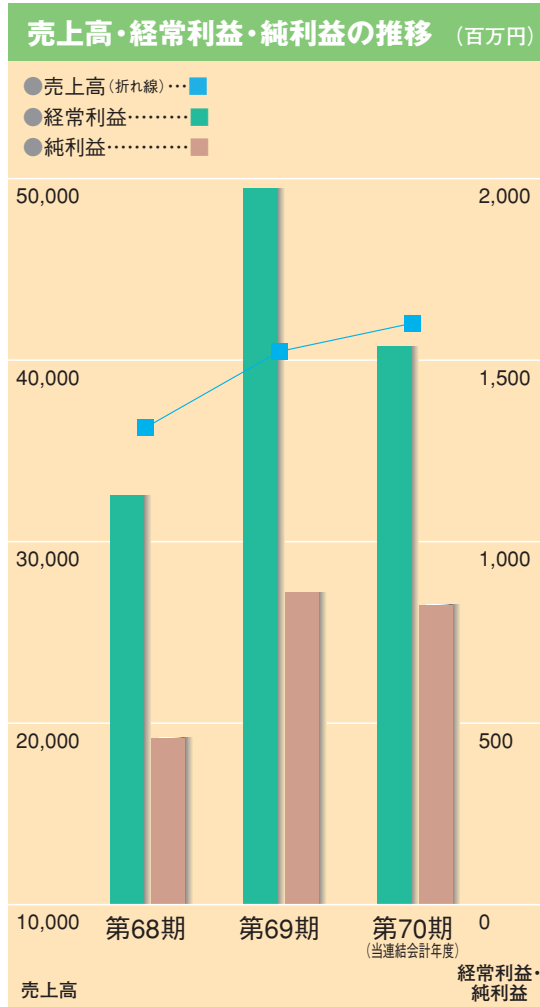
(単位 千円)

科目	金額
(経常損益の部)	
営業損益の部	
売上高	27,338,252
売上原価	24,380,702
売上総利益	2,957,550
販売費及び一般管理費	2,189,806
営業利益	767,744
営業外損益の部	
営業外収益	547,174
受取利息	1,672
受取配当金	165,392
その他の収益	380,109
営業外費用	231,458
支払利息	135,042
その他の費用	96,415
経常利益	1,083,460
(特別損益の部)	
特別利益	2,299
貸倒引当金戻入益	2,299
特別損失	39,970
固定資産除却損	20,245
投資有価証券評価損	4,999
早期退職に伴う退職金	14,724
税引前当期純利益	1,045,788
法人税、住民税及び事業税	188,000
法人税等調整額	273,461
当期純利益	584,327
前期繰越利益	108,643
当期末処分利益	692,971

利益処分

(単位 円)

科目	金額
(当期末処分利益の処分)	
当期末処分利益	692,971,248
任意積立金取崩額	
固定資産圧縮積立金取崩額	34,793,608
計	727,764,856
これをつぎのとおり処分します。	
利益配当金(1株につき6円)	94,398,066
取締役賞与金	30,000,000
任意積立金	
別途積立金	500,000,000
計	624,398,066
次期繰越利益	103,366,790
(その他資本剰余金の処分)	
その他資本剰余金	
自己株式処分差益	14,889
これをつぎのとおり処分します。	
その他資本剰余金次期繰越高	
自己株式処分差益	14,889



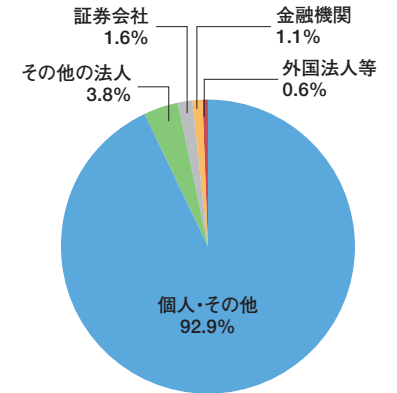
株式の状況

- 会社が発行する株式の総数 30,000,000株
- 発行済株式総数 15,758,994株
- 株主数 1,923名

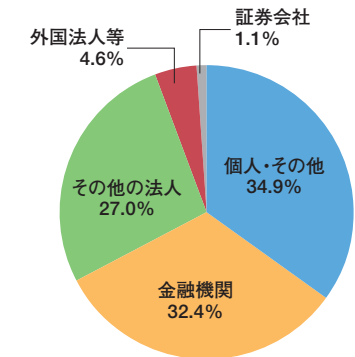
大株主の状況

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本ピグメント取引先持株会	815	5.2
株式会社 みずほ銀行	780	4.9
株式会社 十六銀行	698	4.4
株式会社 みずほコーポレート銀行	610	3.9
資産管理サービス信託銀行株式会社	538	3.4
日本化学株式会社	519	3.3
東京海上日動火災保険株式会社	492	3.1
株式会社 資生堂	492	3.1
株式会社 三菱東京UFJ銀行	468	2.9
株式会社 ビアンコー	442	2.8

所有者別株主比率



所有者別株式比率



概要

会社名 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)
本社所在地 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号
代表者 取締役社長 浅羽 幸夫
創業 1925年 (大正14年)
事業内容 樹脂コンパウンド…プラスチック成形
用材料
樹脂用着色剤……プラスチック着色剤
加工カラー……塩化ビニール着色
剤等
ピグメントカラー…塗料用、印刷イン
キ用等

資本金 14億8,115万円
株式 東京証券取引所 市場第2部上場

役員

取締役社長 (代表取締役)	浅羽 幸夫
取締役副社長 (代表取締役)	島崎 満
取締役	柏木 謙吉
取締役	小林 稔
取締役	赤井 祀充
取締役	石井 繁雄
取締役	上野 章
取締役	井手 讓司
取締役	加藤 龍巳
取締役	薮島 栄一
常勤監査役	佐藤 恒夫
常勤監査役	塩澤 泰雄
監査役	木下 郁大

国内事業所

■本社
本社
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号
TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418

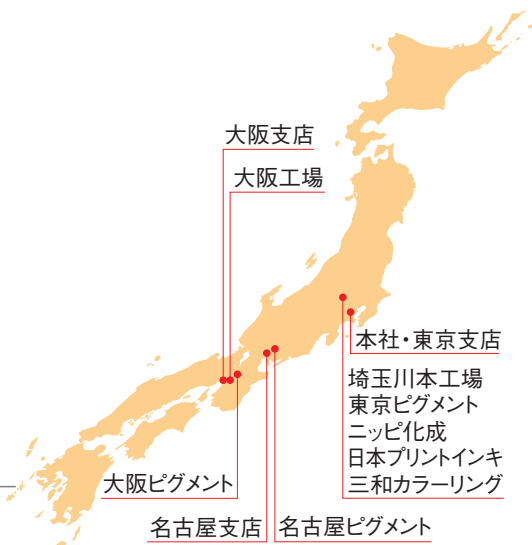
■営業部門
東京支店
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番16号
(丸石第二ビル)

大阪支店
〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目7番10号
(扶桑道修町ビル)

名古屋支店
〒464-0075 名古屋市中千種区内山三丁目8番10号
(明治安田生命今池内山ビル)

■生産部門
埼玉川本工場
〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909番地52

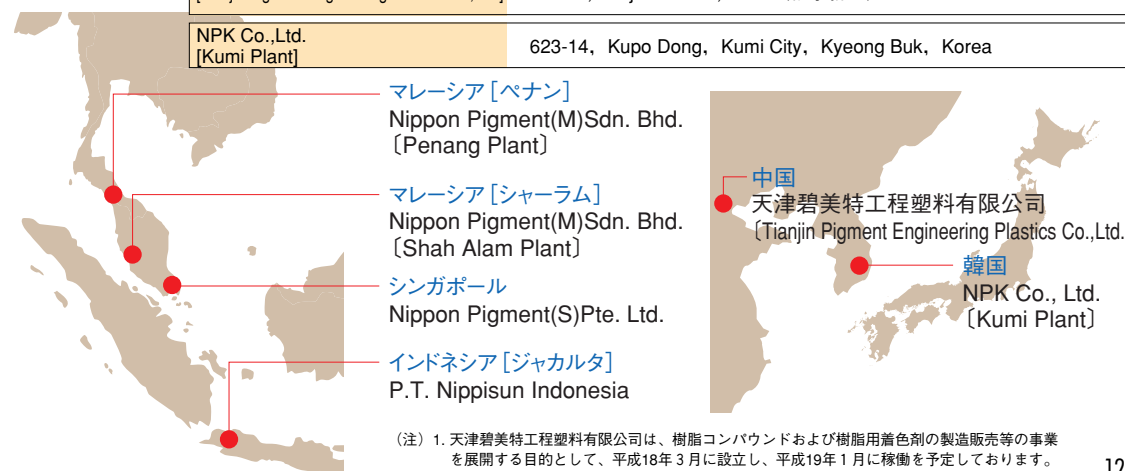
大阪工場
〒582-0029 大阪府柏原市石川町1番23号



国内

東京ピグメント株式会社	〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201番地11
ニッピ化成株式会社	〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201番地11
日本プリントインキ株式会社	〒360-0005 埼玉県熊谷市今井字上本郷1035
名古屋ピグメント株式会社	〒484-0952 愛知県犬山市上舞台62番地の1
大阪ピグメント株式会社	〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町6番地11
三和カラーリング株式会社	〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原138番6
Nippon Pigment (S) Pte.Ltd.	1 Pioneer Place Singapore 627866
Nippon Pigment (M) Sdn.Bhd. [Shah Alam Plant]	PT14533, Jalan Jenjarum 28/39A, Seksyen 28, 40400 Shah Alam, Selangor Darul Ehsan, Malaysia
Nippon Pigment (M) Sdn.Bhd. [Penang Plant]	NO. 2479, MK1, Lorong Perusahaan 8b, Prai Industrial Estate 13600 Prai, Penang, Malaysia
P.T.Nippisun Indonesia	1-1 block I, Kawasan Industri MM2100 Cibitung Bekasi 17520 West Java Indonesia
天津碧美特工程塑料有限公司 [Tianjin Pigment Engineering Plastics Co.,Ltd.]	Room 3101 Golden Emperor Building, No.20 Nanjing Road Hexi District,Tianjin 300041,China (仮事務所)
NPK Co.,Ltd. [Kumi Plant]	623-14, Kupo Dong, Kumi City, Kyeong Buk, Korea

海外



(注) 1. 天津碧美特工程塑料有限公司は、樹脂コンパウンドおよび樹脂用着色剤の製造販売等の事業を展開する目的として、平成18年3月に設立し、平成19年1月に稼働を予定しております。
2. 昨年までグループ会社の国内拠点として掲載の東和コンパウンディング株式会社は、平成17年12月に解散しました。

- 証券コード 4119
 - 一単元の株式数 1,000株
 - 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 - 定時株主総会 6月中
 - 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
 - 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 同事務取扱場所 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 同連絡先・郵送先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
 - 同事務取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
野村證券株式会社本店及び各支店
 - 公告方法 当社ホームページに掲載いたします。
(当社ホームページアドレス)
<http://www.pigment.co.jp/>
- ※ただし、やむを得ない事由によって上記において掲載できないときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
- 名義書換手数料 無料
 - 単元未満株式買取手数料および買増手数料 無料
 - 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

- 株式事務手続きに関するお問い合わせや手続き用紙のご請求は、下記までお願いいたします。
 - ◆株式事務手続きに関するお問い合わせ
三菱UFJ信託銀行株式会社
フリーダイヤル 0120-232-711
(本店証券代行部)
 - ◆手続き用紙のご請求
フリーダイヤル 0120-244-479
(本店証券代行部)
- インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- ※なお、お手続き用紙のご請求は三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページおよび電話で24時間受付けておりますのでご利用ください。また、株券保管振替制度をご利用の株主様は、株券を預託された証券会社等へお申し出ください。

当社ホームページのご案内

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、企業情報、製品情報などについてお知らせするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。



<http://www.pigment.co.jp/>

